資料２

県民意識調査結果報告

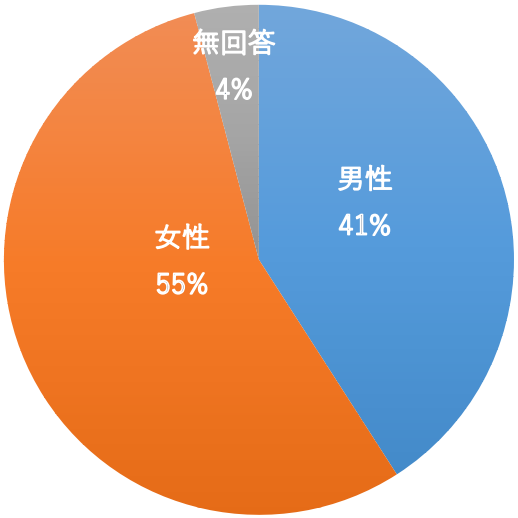
令和8年10月

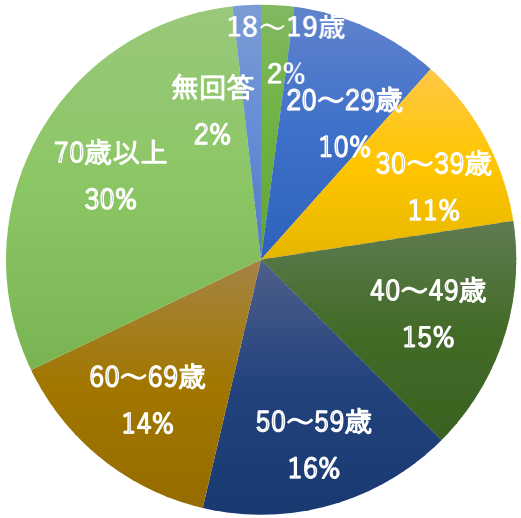
香川県男女参画･県民活動課

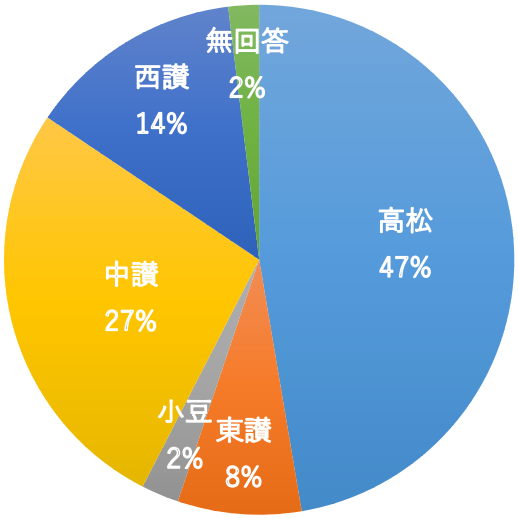
調査概要

◆実施期間：令和８年６月１２日～７月３日
◆対象者　　：満１８歳以上の県民（標本数3,000）
◆回答件数：1,392件（46.4％）
◆調査方法：郵送法
◆調査目的：総合計画策定に向けた、県民の関心、認識、要望などの調査

回答者属性







令和８年度　香川県民意識調査　設問状況

■次期総合計画

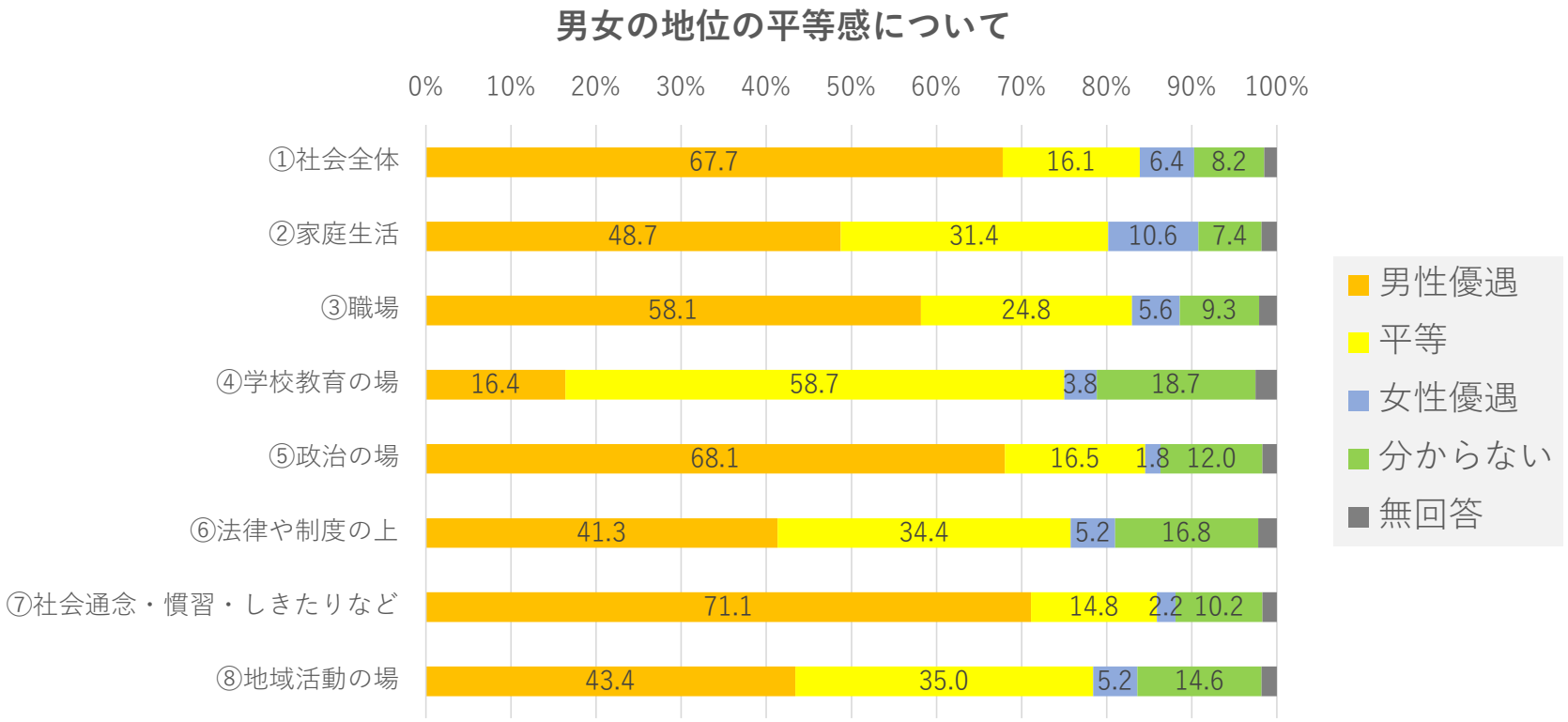
問１～問10

■次期男女共同参画プラン

問11～問19

本資料は
こちらの
集計結果

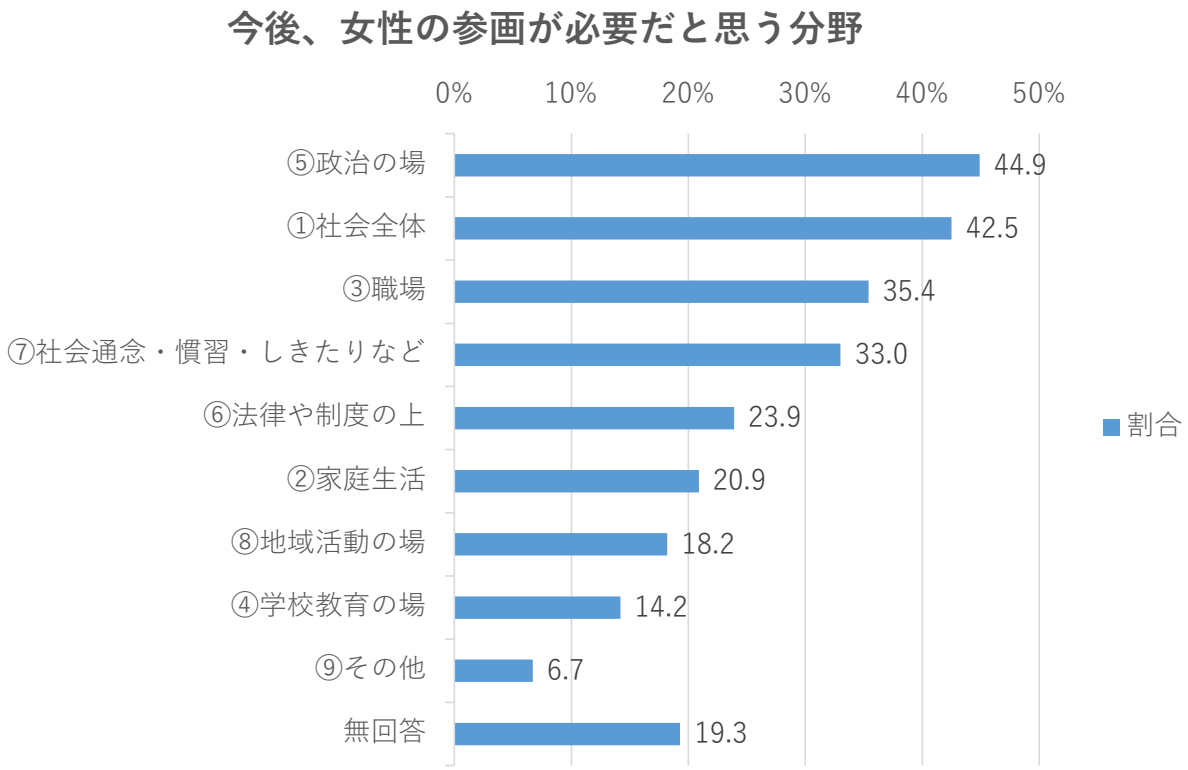
問11　（男女の地位の平等感を６段階で問う設問）
次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。
それぞれの項目につき、１つだけ選んでください。



全　体：社会全体でみると、平等と感じている人は、16.1%、男性優遇は67.7%、女性優遇は6.4%
学校教育の場が平等と感じている方が最も多く58.7%、男性優遇は16.4%、女性優遇は3.8%

【男性優遇】　：「男性の方が非常に優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した方
【女性優遇】　：「女性の方が非常に優遇されている」、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と回答した方

問12　（問11の分野において）
今後、女性の参画が必要と思われる分野は、どの分野ですか。
あてはまる番号をすべて選んでください。

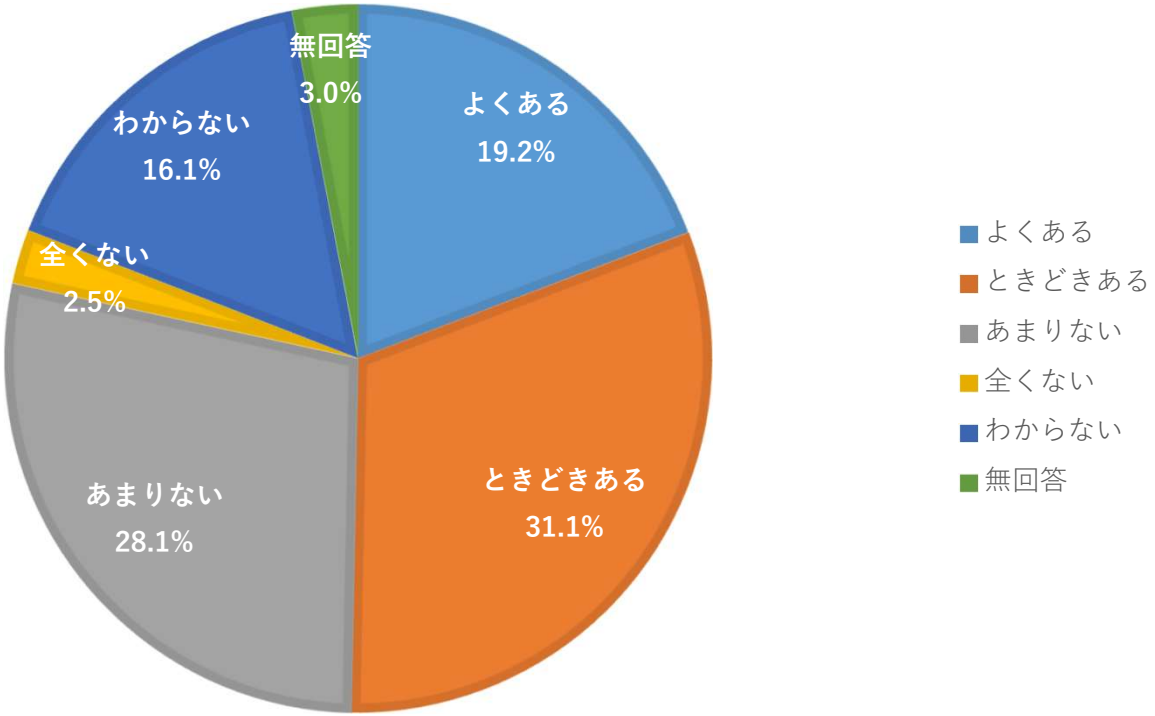


全　体：１位（４４．９％）政治の場
２位（４２．５％）社会全体
３位（３５．４％）職場

半数近くが、政治や社会全体において、女性参画が必要と回答している。

問13　家庭、職場、地域活動で固定的な性別による役割分担意識や先入観（アンコンシャス・バイアス）を感じたことはありますか。
次の中から１つだけ選んでください。

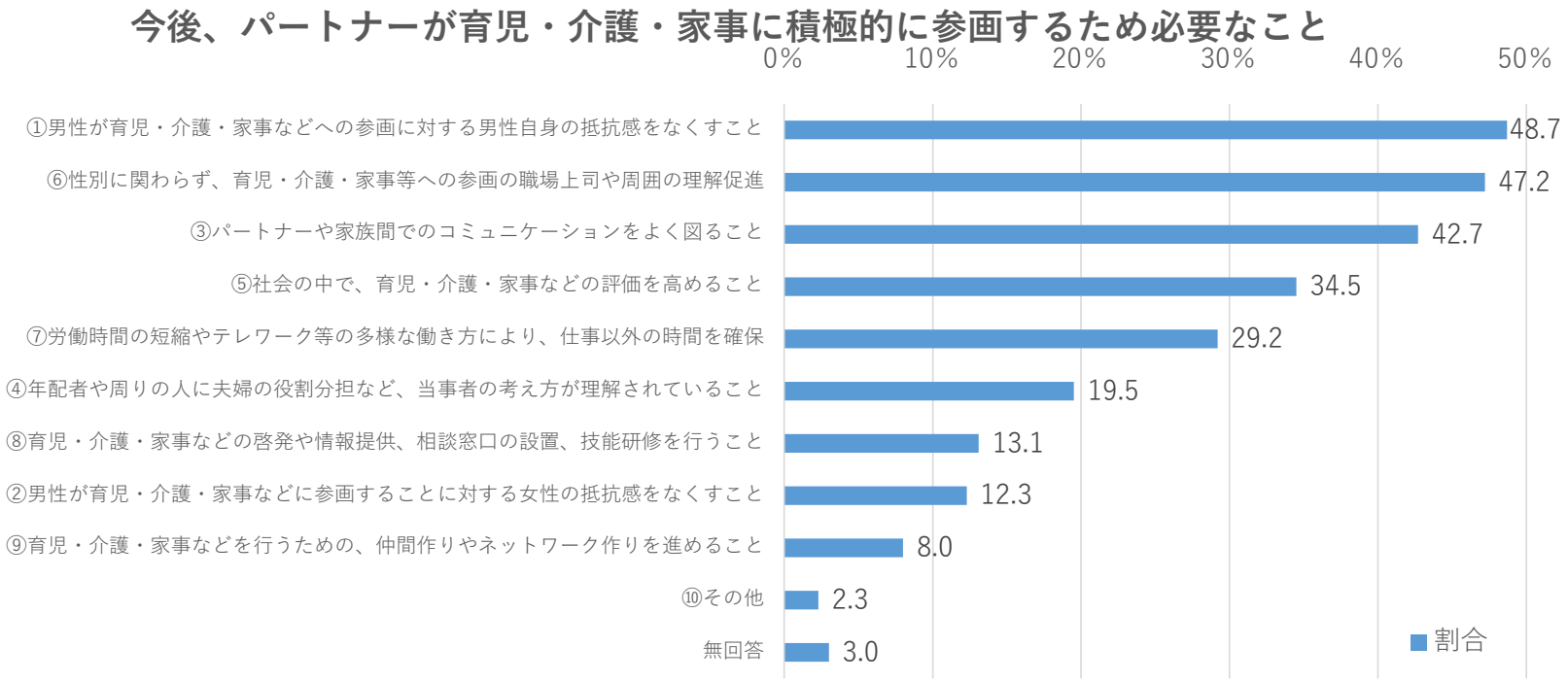
家庭、職場、地域活動で固定的な性別役割分担意識等を感じたことがあるか



全　体：よくある（１９．２％）、ときどきある（３１．１％）
あまりない（２８．１％）、全くない（２．５％）
わからない（１６．１％）

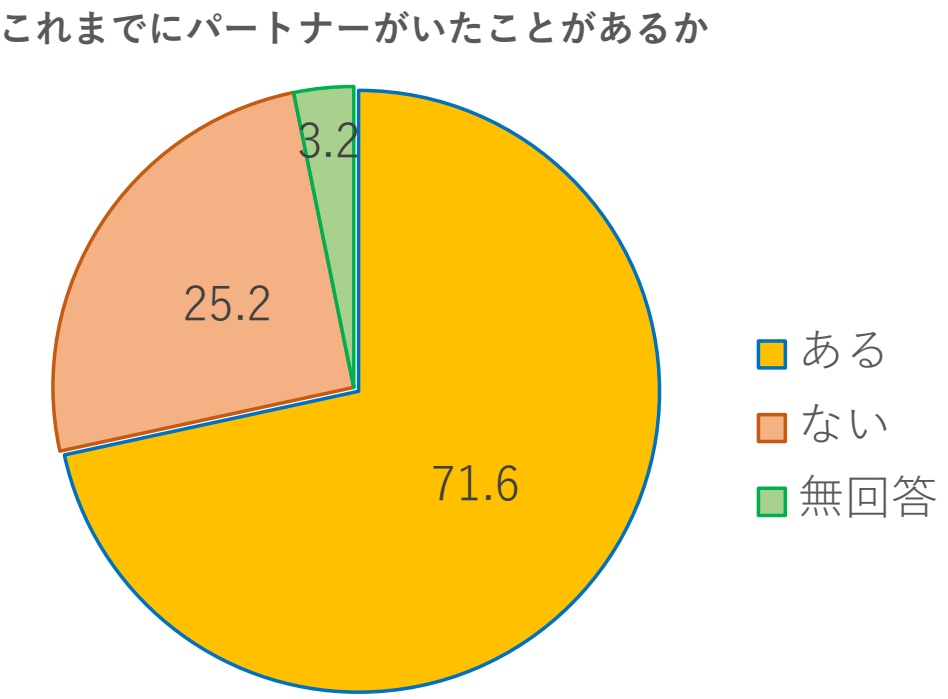
「よくある」、「ときどきある」が５０．３％と、過半数の人が固定的な性別役割分担意識等を感じたことがある。

問14　今後、パートナー（配偶者、事実婚の相手、交際相手など）が育児・介護・家事に積極的に参画していくためには特にどのようなことが必要だと思いますか。
（３つまで選択可）



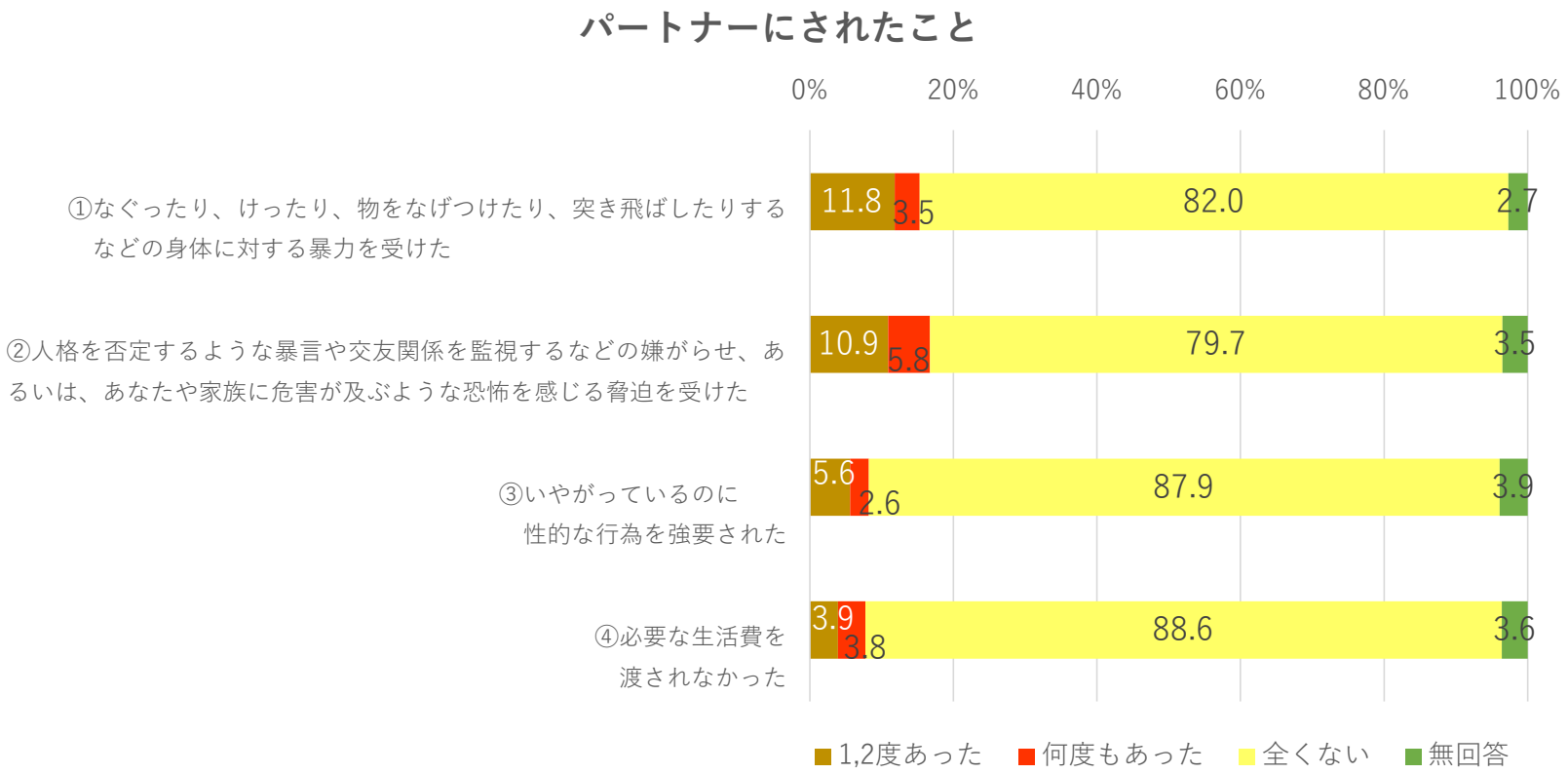
全　体：１位（４８．７％）男性が育児・介護・家事などに参画することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
２位（４７．２％）性別に関わらず育児・介護・家事などに積極的に参画することについて、職場における上司や周囲の理解を進めること
３位（４２．７％）パートナーや家族間でのコミュニケーションをよく図ること

問15　あなたはこれまでに、（現在、過去を含め）パートナー（配偶者、事実婚の相手、交際相手など）がいたことがありますか。
（１つを選択）



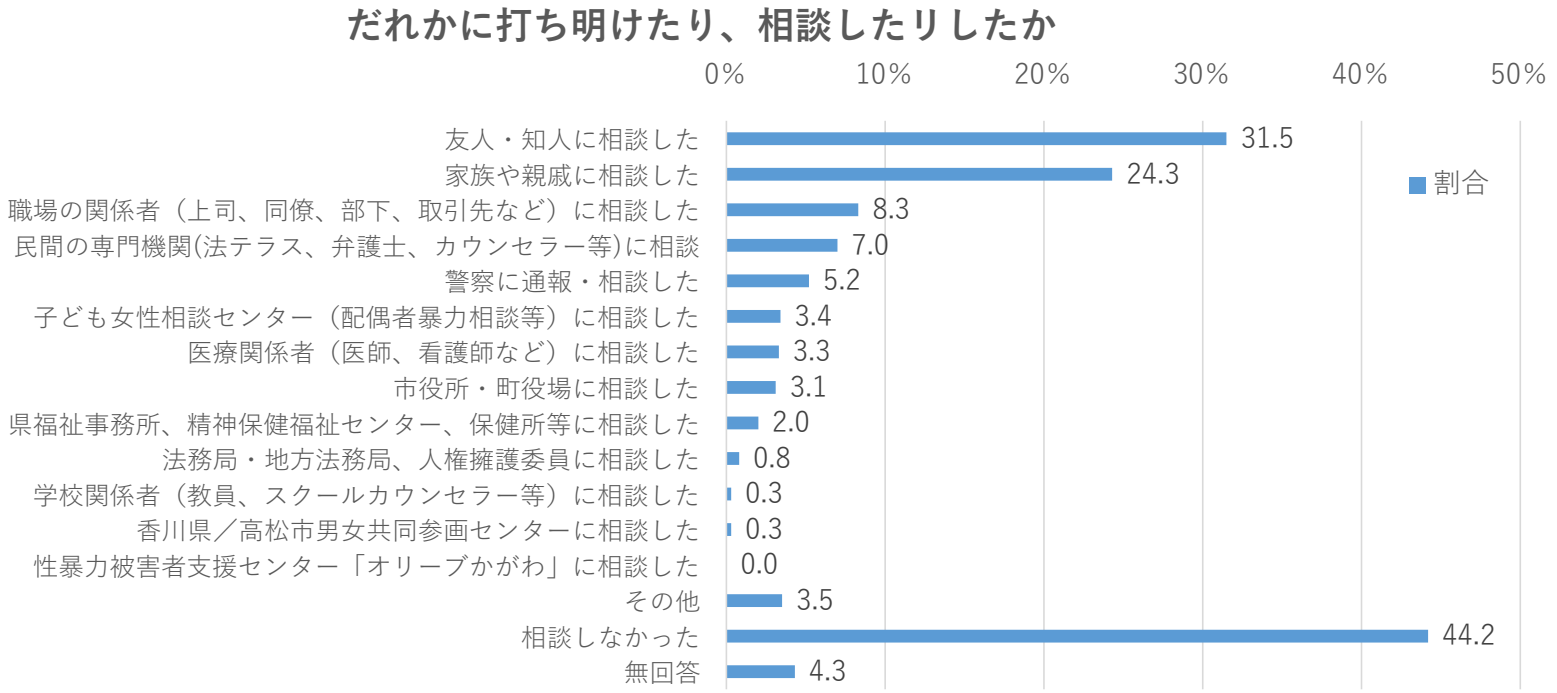
全　体：**あ　る（７１．６％）**
な　い（２５．２％）
無回答（　３．２％）

【問15で「１　ある」と回答した方にお聞きします】
付問２　あなたはこれまでに、あなたのパートナーから次のようなことを
されたことがありますか。（それぞれ１つに〇）



全　体：①なぐったり、けったりといった身体に対する暴力を受けたことがある（１５．３％）
②暴言や精神的な嫌がらせ、恐怖を感じるような脅迫を受けたことがある（１６．７％）
③いやがっているのに性的な行為を強要されたことがある（８．２％）
④必要な生活費を渡されなかったことがある（７．７％）

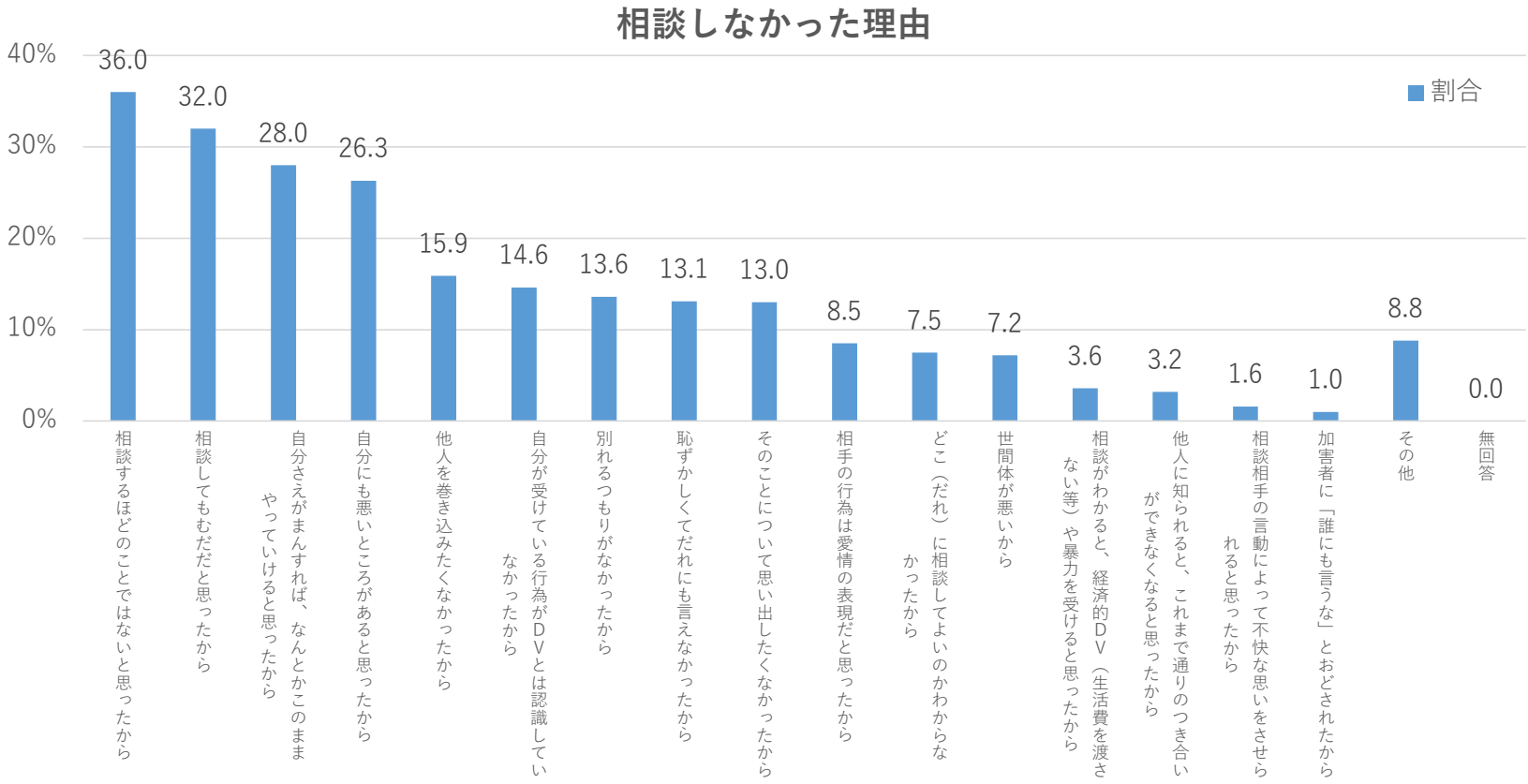
【付問２で、「１，２度あった」「何度もあった」と答えた方にお聞きします】
付問３　あなたは、あなたのパートナーから受けたそのような行為について、
だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。（あてはまるものすべてに〇）



全　体：１位（４４．２％）相談しなかった
２位（３１．５％）友人・知人に相談した
３位（２４．３％）家族や親戚に相談した

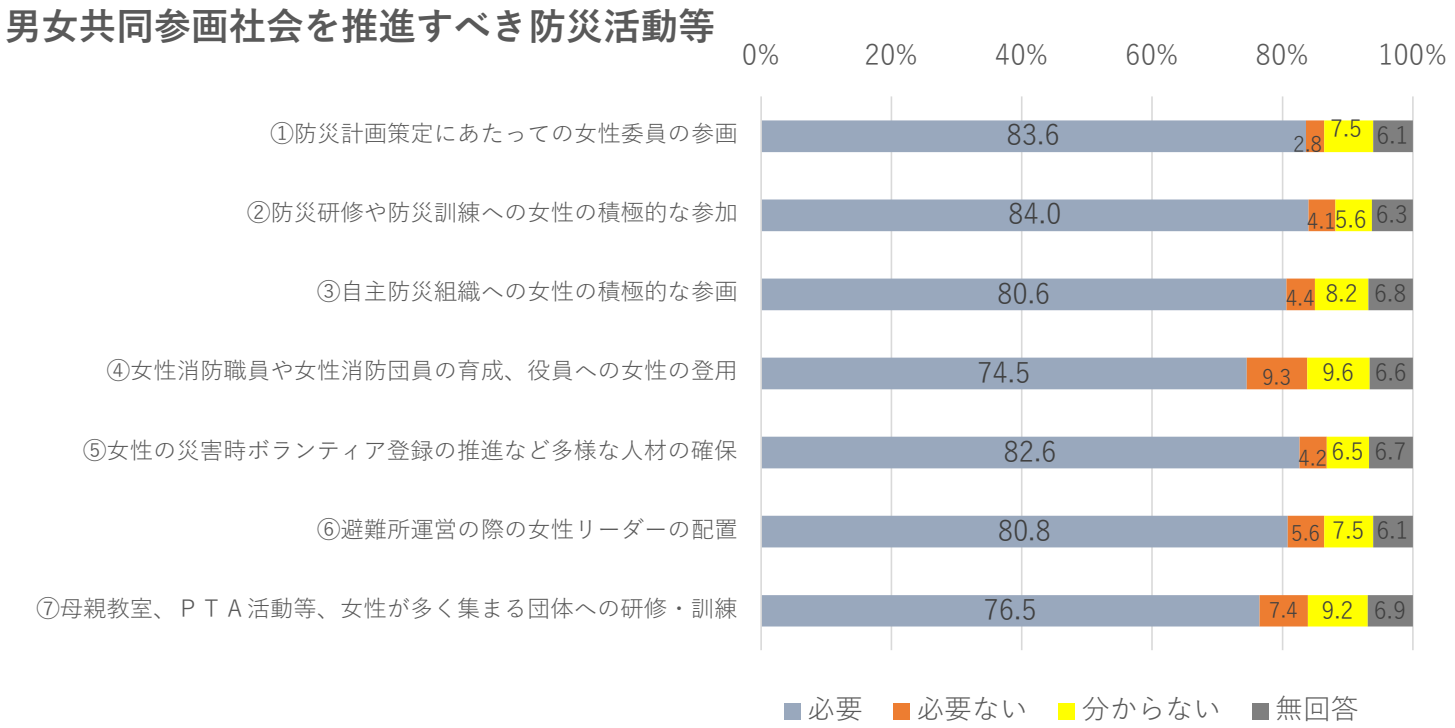
➢誰にも相談しなかったという方が、全体の半数近くを占めている

【付問３について、15を選んだ方にお聞きします】
付問４　相談しなかった理由はなぜですか。
　　あてはまる番号をすべて選んでください。



全　体：１位（３６．０％）相談するほどのことではないと思ったから
２位（３２．０％）相談してもむだだと思ったから
３位（２８．０％）自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから

問16　防災（災害復興を含む）活動等に関して、男女共同参画社会を推進していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（それぞれ１つに〇）



全　体：男女共同参画社会を推進していくために必要な防災活動など
１位（８４．０％）防災研修や防災訓練への女性の積極的な参加
２位（８３．６％）防災計画策定にあたっての女性委員の参画
３位（８２．６％）女性の災害時ボランティア登録の推進など多様な人材の確保

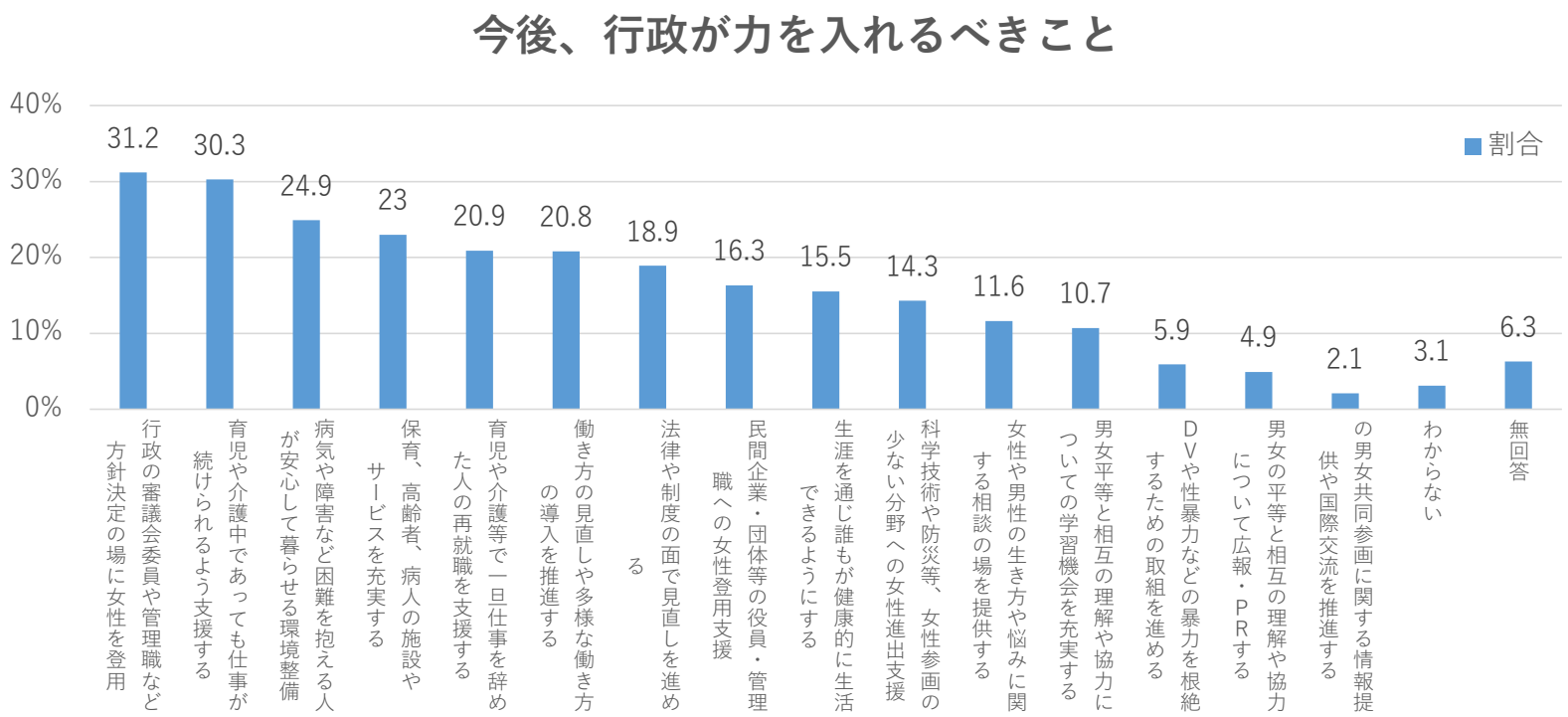
【必要】　　：「必要」、「どちらかといえば必要」と回答した方
【必要ない】：「あまり必要ではない」、「必要ない」と回答した方

問17　問16のような防災分野における女性の参画が進まない原因はなぜだと思いますか。
（自由記述）

項目	件数
時間的困窮	157件
身体的差異	54件
固定観念	144件
環境・情報不足	52件
個人意識・関心	97件
制度推進不必要	11件
現状否定・反発	22件
組織・地域構造	52件
地域特性	25件
その他	34件

全　体：１位（１５７件）時間的困窮
２位（１４４件）固定観念
３位（　９７件）個人意識・関心

問18　あなたは、男女共同参画社会を形成していくために、今後、行政はどのようなことに、特に力を入れていくべきだと思いますか。
（３つまで選択）



全　体：１位（３１．２％）県や市町の審議会委員や管理職など政策・方針決定の場に女性を積極的に登用する
２位（３０．３％）育児や介護中であっても仕事が続けられるよう支援する
３位（２４．９％）病気や障害、高齢、貧困などの困難を抱える人が安心して暮らせる環境を整備する

➢審議会委員や管理職への積極的な登用、育児・介護でも続けられる職場環境との声が多かった。

問19　男女共同参画社会に関するご意見・ご要望（自由意見）

カテゴリー	件数
制度推進反対	23件
固定観念・区別	23件
就労環境改善	25件
意識改革・教育	31件
社会環境・生活	32件
政治・行政批判	13件
その他	15件

全　体：１位（３２件）社会環境・生活
２位（３１件）意識改革・教育
３位（２５件）就労環境改善